

納めた国民年金保険料は、 全額 社会保険料控除の 対象です！



国民年金保険料は所得税法および地方税法上、健康保険や厚生年金などの社会保険料を納付した場合と同様に、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。控除の対象となるのは、平成24年1月から12月中に納めた保険料全額です。(過去の年度分や追納保険料なども含まれます。また、ご自身の保険料だけでなく、配偶者やご家族の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合も合わせて控除が受けられます。

なお、平成24年中に納付した国民年金保険料について、社会保険料控除を受けるためには年末調整や確定申告を行うときに、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要です。

このため、国民年金保険料を納付された方には、日本年金機構から『社会保険料(国民年金保険料)控除証明書』を11月上旬に送付されていますので、申告書の提出の際には必ず添付してください。

税法上とても有利な国民年金は、老後にも心強い味方です。そのためにも保険料は納め忘れないようキチンと納めましょう。

国民年金基金加入のおすすめ

国民年金基金は、基礎年金に上乗せする公的な年金であり、安心してご加入いただけます。加入できる方は、国民年金の保険料を納めている60歳未満の第1号被保険者(自営業者、農林漁業者、無職、自由業者などの人とその配偶者、学生)です。掛金は、加入時の年齢、性別、口数等により決まります。

また、全額社会保険料控除の対象となるため、所得税や住民税が軽減されます。給付の基本は、「終身年金」で一生受け取れます。お申し込み等は、滋賀県国民年金基金(フリーダイヤル0120-65-4192)まで。

国民年金課
☎(25)8137

非自発的失業者にかかる 国民健康保険税の負担軽減制度

倒産・解雇などで離職した方(特定受給資格者)や、雇止めなどで離職した方(特定理由離職者)については、国民健康保険税の負担軽減制度があります。

▼対象者
平成21年3月31日以降に離職した65歳未満(離職日現在)の方で、雇用保険受給資格者証の離職理由コードが下表のいずれかに該当する方

▼軽減措置の概要
対象者の前年の給与所得を100分の30とみなして国民健康保険税を計算します。

▼軽減期間
離職日の翌日から翌年度末まで雇用保険の失業等給付を受ける期間とは異なります。

※国民健康保険に加入している間は、再就職しても軽減は続きませんが、社会保険等に加入すると終了します。

国税務課 ☎(25)8116

○特定受給資格者

コード	離職理由
11	解雇
12	天災等の理由により事業の継続が不可能になったことによる解雇
21	雇止め(雇用期間3年以上雇止め通知あり)
22	雇止め(雇用期間3年未満更新明示あり)
31	事業主からの働きかけによる正当な理由のある自己都合退職
32	事業所移転等に伴う正当な理由のある自己都合退職

○特定理由離職者

コード	離職理由
23	期間満了(雇用期間3年未満更新明示なし)
33	正当な理由のある自己都合退職
34	正当な理由のある自己都合退職(被保険者期間12か月未満)

すてきな作品をお待ちしています！

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・連絡先を書き添えて投稿してください。作品は未発表のもので、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。
★応募数が多い場合は選考をさせていただきます。
次回締切 12月25日必着(掲載は2月号) (企画広報課)

みんなで作るみんなのページ

みんな 575



騙されぬ 福祉目的 消費税
豆腐屋の ラッパ聞こえし 鱈雲
百歳の 旭陽拝し 我の身は
気をつけよう 口から出すもの 入れるもの
かみなづき ごえもんさんも かまのそと
ありがとう この一言で 明日がくる
明日あると 信じ手をふり また、あした
五七五 友と話を して生まれ
気は強く 心優しく 生きる術
公園の 空気たらふく 吸って秋
レゾが混む そうかポイント 三倍日。
細波が 茜の色を 消してゆく
年金が 命の綱と なりている
この僕も ヨッコラセと 言う歳に
同窓会 亡き友の顔 おもい出し
農機具も つかい終れば りさいくる
紫苑花 大きな背丈の 秋の花
旭岳 紅葉見事 素晴らしい
いとし月 乙女が池に 浮きゆれて
夫子に 専属カット 感謝です
畦道に 彼岸花揺れ 鷲が舞う
年の瀬に 肩こる話 聞きに行き
テレビ界 笑いとるのに 骨を折り
巨人軍 イメージチェンジし 制覇する
洗うとは 浮かす事なり 貝割菜
人として 慈しむ人よ ありがとう
なれた道 ながめていたよ 余呉の湖
主還り 新年向かい 注連縄絢う
夕映えに もえて山辺の 秋深し
椎の木に つる宿したり あけび成る
老人会 笑顔ヨイショの サロン会
泣き笑い 月日の早さ 今年も過ぎ
秋のおと 虫の音いろに いやされて

久保 俊明(高・押戸)
伊庭 健博(新・深溝)
駒井 重雄(安・北船木)
中河 仁子(今・今津)
上田 幸次郎(マ・浦)
沢井 美代(朽・岩瀬)
村田 ナミ(高・勝野)
河原田うた子(今・岸脇)
池田よし枝(今・今津)
丸岡亜希子(新・蘆園)
林 吉輝(新・深溝)
川端 昭子(マ・高木浜)
河原田 勝(今・岸脇)
上山 惟裕(高・城山台)
山本 京子(高・高島)
前川 たつ(新・針江)
藤森みち子(朽・柏)
山本 忍(高・高島)
美濃部正昭(安・中央)
曾根ケイ子(新・響庭)
山本美智子(朽・麻生)
梅村 保次(安・四津川)
平井 真造(安・上古賀)
久米 良彦(新・太田)
平井 ちく(朽・大野)
洞山千代江(今・南新保)
伊丹 孝子(高・勝野)
山本喜代治(安・長尾)
和田阿也子(新・旭)
山本 節子(安・西万木)
中崎 徳子(朽・桑原)
寺田 義輝(マ・西浜)
奥津とし江(安・川島)

栗ごはん 秋を感じて 口進む
自分史に 幸せ多き 年と書く
予定より 五日おくれの 曾孫抱く
予報士は ステキなお嬢 さんがよい
気にかかる 遠き古家 落葉ちる
晩秋や 白鳥飛来 北湖かな
年重ね 冬の訪れ 厳しすぎ
雑草を かき分けて咲く 曼珠沙華
秋晴れや 孫寿の 知らせあり
枝豆も 秋刀魚も妻も 酒の友
早や一年 残り僅かに なかりけり
嫁からの 誕生祝に 舌つづみ
やわらかな 夕陽背おいて ペダル踏む
畑仕事 身と心の リハビリに
名月を 仰ぎて家路へ ペダル踏む
秋深し 刻々変わる 遠き峰
年重ね 頭毛白し 富士の山
朝日うけ くつきり浮かぶ 竹生島
枯れて尚 色重ね合う 落葉かな
コトコトと 寒そな風吹き 冬の夕ぐれ
満月や 雲の間に 墨絵かな
復興費 霞ヶ関が 食い潰し
立ち枯れの 山こもごもに 秋の色
短日や あれもこれもと 欲張って
小きば校 一人数役 うんどう会
おい走れよと 杖歩行の我に 友の檄
友遠き ハガキ一まい 気がやすむ
旅の空 ふる里恋しや 流れ星
世の中は ドラマの如く 殺伐とし
早々と 新米旨き 敬老日
老いて尚 猫撫で声で 色盛ん
何時までも ほけない様に がんばろう
喉元を 過ぎ節電を 忘れがち

穴井 義夫(今・梅原)
上原すみ江(新・太田)
上田 えみ(マ・浦)
西川五穂三(高・高島)
小島あき江(安・下小川)
山田 薫(安・北船木)
松本せつ子(マ・海津)
益本さつき(マ・沢)
高橋レイ子(高・鴨川平)
駒井 堅次(安・北船木)
桑 洋一(新・太田)
岡田 芳子(マ・沢)
頃常 芳子(今・今津)
森本 幸枝(今・梅原)
早田 弘子(今・今津)
松山八重美(今・今津)
石田 三造(新・深溝)
伊吹 忠義(マ・中庄)
墨友 光代(今・上弘部)
添田富美子(安・常磐木)
細野紀代子(マ・白谷)
西 美津子(高・鴨川平)
西 晴明(高・鴨川平)
曾根しづ江(マ・沢)
高澤 芳枝(今・松陽台)
太田 和美(マ・蛭口)
高岡ふじ江(マ・小荒路)
木津 みね(高・押戸)
井口 みよ(高・高島)
堤中 幸子(新・針江)
高橋 久一(新・蘆園)
前田 とみ(今・浜分)
中内 保男(新・針江)

あなたの店や事業の広告を出しませんか？

募集 **広告** **誌**

■2月号締切 12月25日(火)
■掲載料 10,000円/1枠(28mm×85mm)

ホームページ

■1月掲載分締切 12月10日(月)
■掲載料 1か月10,000円

「高島みてねっと！
ウィークリーニュース」
の最終画面に掲載主の社
名表示付き！